



# 「持続可能な未来都市 高岡」の実現を目指して わたしたちにもできる SDGs

企画課 TEL 20-1101 FAX 20-1670

SDGsは、2015年の国連総会で採択された、2030年を達成期限とする17の目標と具体的なターゲットのことで、経済・社会・環境の3つの側面を統合的に発展させて、「誰一人取り残さない」世界を目指しています。

高岡が変われば世界も変わる

高岡をより良くするための取り組みは、SDGsの達成にも繋がります。一人ひとりの取り組みは小さくても、皆さんの取り組みが積み重なれば、地域をよりよくする大きな力となります。2030年を期限としたSDGsも今年の7月に折り返しを迎え、後半戦に入りました。SDGsの取り組みを通じ、「持続可能な未来都市 高岡」の実現を目指しましょう。

今月は、自分たちのまちの未来を自らの手で創る活動をされている、市内の皆さんの取り組みを紹介します。



## 未来を変えるために、自ら行動すること

### ◆高岡南高校3年

中村 悠新さん  
高瀬 愛裕美さん  
宮腰 侑来さん  
関 敬美さん



水素で作った電気を利用して軽音楽のライブも開催しました。当日は発電の仕組みを紹介し、皆さんに関心を持って聞いていただくことができました。

【宮腰さん】当初、SDGsは難しいイメージがありましたが、今回の経験からSDGsの活動は自身の生活や未来につながっていることに気づきました。SDGs以外にも、自分の将来に役立つことが世の中にはいっぱいあって、そういうことから目をそらさず、知見を広げていくことで、少しでも自分の周りの人に何か還元できればいいなと思っています。

### 【関さん】

今回のライブは、地域の皆さんに環境問題に興味を持つきっかけにもらうために開催しましたが、私たちが思う大切なこと、伝えたいことを地域の人や地域の小中学生に知らせていくといったことが、私たちができることなのではないかと思っています。例えば御旅屋通りとか、かつこいい高岡大仏も。高岡にあるすてきな文化をもっといろんな人が知って、みんなが守っていきけたらいいなと思います。



地元小学校と連携して回収したアルミ缶を運ぶ4人



## デジタルでつなぐ地域の絆

### ◆開発本町自治会 林 省次さん

(前自治会長、現相談役)

電子閲覧板アプリの「結ネット」を昨年から導入しています。これまで閲覧板で案内していた情報をスマートフォンやタブレットで確認できるほか、獅子舞や農園の植え付けなどの町内のニュースが、写真や動画と一緒に見ることが出来ます。現在は、町民の約8割の方に利用いただいており、家族だけでなく、町内の皆さんで共通の話題を持つことができるようになったと好評をいただいています。

7月12日には市内全域で大雨となり、開発本町も被害を受けました。床上浸水した家もありましたが、復旧作業に多くの町民が応援に駆け付け、住民同士がつながる大切さを改めて感じています。幸いにも人的被害はありませんでしたが、大きな災害がいつ発生してもおかしくありません。今後は結ネットを使った安全確認訓練など「共助」の取り組みを進めながら、地域の絆をより深めていきたいです。



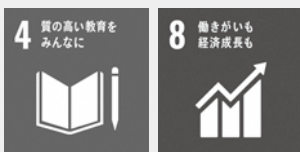
## 農業は最強の『のびしろ』

### ◆cover farm 代表 青沼 光さん

人も牛も幸せになれる社会を目指し活動しています。たかおかSDGsパートナーとして、酪農を通じて地域課題の解決に貢献していきたいと考えています。これまで工場が出た野菜くずを餌として使ってきましたが、今年は、牛のふんを肥料にして、地域の農地で活用いただく取り組みにもチャレンジしています。輸入に頼っている餌や肥料を、地域内で生産・消費することで、経済のサイクルを地域で回せるし、環境にもよい効果を期待しています。

高岡にとって、農業は最強の「のびしろ」だと思っています。中心となるまちがあり、周囲には農地、海などの自然環境があることは、まさに食を供給する構造としては最適で、農業のなり手が不足しているなんてもったいないと感じています。

わたしたちの生活から切り離すことのできない「食」から、地域の持続可能性を考えることを通じて、農業を起点としたまちづくりを、多くの人に伝えていきたいです。



## 交流と挑戦のプラットフォームに

### ◆高岡まちなかスタートアップ支援施設「TASU」

コーディネーター 山本 保さん

今年3月に御旅屋セリオ4階にオープンした、起業・創業を志す方に無料で相談を行うスタートアップ支援施設「TASU」でコーディネーターとして働いています。相談者一人一人と真摯に向き合って伴走支援していくことはもちろんですが、すでに起業されている経営者や地元企業ともつながりをつくり、コミュニティを構築することで地域全体を活性化させるべく活動しています。

最近では、商品開発を段階的に支援するため、参加者がアイデアに意見を出し合う「ゼロイチ会」やさつるなるフラッシュアップを図る商品アイデア発表会を開催しました。起業家支援を通じて、高岡で仕事をしたいきっかけや機会を増やし、高岡市の賑わいを創出していきたいです。今後は、地元の学生との共同イベント等を通して接点を持ち、若い人への啓発にも取り組んでいきたいと考えています。

### 【中村さん】

今回の活動を通して、もっといろいろな世界を調べてみたいと思いました。私は小さい頃から、環境に対する関心があり、ポジティブな面もネガティブな面も含めて、世界が今どういう状況にあるのかを積極的に知っていきたくと思っています。

### 【高瀬さん】

私たちが今回経験したような地元での楽しい思い出があれば、若い人たちにも将来、就職や家庭を持つときに子供たちにも経験させたいなって思ってもらえると思います。私自身、地元に感じるあたかさがとても好きで、若い人たちがなぜ地元に戻ってこないのかが不思議に思うくらい(笑)。若い世代へのアプローチや、どうしたらまた戻ってきてもらえるかを、同じ世代の私たちが考えていくことも必要ではないかと思っています。

## たかおかSDGsパートナーを募集しています

SDGsを通じて高岡の地域課題解決に向け、連携して取り組んでいただける企業・団体などを募集しています。登録要件や申請方法など、詳細は市ホームページをご覧ください。



## 募集中！

たかおか  
SDGs  
パートナー

## 出前講座を行っています

市の職員が自治会や各種団体にお伺いし、SDGsについて講座を行います。

▼市ホームページや出前講座パンフレットをご覧ください。

▼企業などを対象に、社会課題をビジネスの力や自らの行動で解決する考え方を学ぶカードゲームを活用したワークショップなども開催できますので、ご相談ください。

